

崇田徳彦技官 土木学会北海道支部奨励賞を受賞さる

当研究所の水工部河川研究室員である崇田徳彦技官は、平成4年度土木学会北海道支部研究発表会において発表された『鉛直流速分布を考慮した水制を含む数値計算モデルの開発』について審査の結果、土木工学上の学術進歩と技術向上に資する優秀な論文と認められ、平成5年5月27日に土木学会北海道支部奨励賞を授与された。

論文内容は、レーザー流速計を用いた基礎実験により、水制背後の流れを詳細に計測し、水制により生じる2次流の構造を初めて明らかにした。さらに、この結果をもとに水制により発生する2次流のモデル化を行っている。これにより、従来不可能であった水制等河川構造物を含む河道の河床変動予測あるいは河川構造物の周辺環境への影響を把握することが初めて可能となり、本研究の成果は治水上および河川環境上きわめて有用な知見を与えるものである。



受賞された崇田徳彦さん

城野忠幸技官 土木学会北海道支部奨励賞を受賞さる

当研究所の構造部構造研究室員である城野忠幸技官は、平成5年5月27日に平成4年度土木学会北海道支部通常総会において土木学会北海道支部奨励賞を授与された。受賞対象は「積雪寒冷地を考慮した埋設ジョイントの開発」で、新しく考案した埋設ジョイントの構造とその実験の成果が認められたものである。

本論文は、従来から用いられてきたタイプと新たに考案したものそれぞれについて、種々の条件下で体系的に比較実験を行い、そのひずみ分布、荷重履歴を明らかにしている。このジョイントは快適な車両走行の確保に寄与するものであり、その簡易な構造と相まって伸縮装置の施工時・補修時に数多くの利点を有するものである。またその実験結果は、今後の積雪寒冷地における埋設ジョイントの適用にあたっての有効な判断指標となることが期待される。



受賞された城野忠幸さん